

会 議 録

会 議 の 名 称	平成21年度 第2回豊中市立図書館評価検討委員会		
開 催 日 時	平成21年(2009年)5月14日(木)18時~20時		
開 催 場 所	豊中市立岡町図書館 集会室	公開の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・一部不可
事 務 局	生涯学習推進室 岡町図書館	傍聴者数	1人
公開しなかつた理由			
出 席 者	委 員	村上泰子 上口佐知子 本荘泰司 中井靖子	
	事 務 局	岡町図書館長 千里図書館長 野畑図書館長 庄内図書館長 蛭池図書館長 岡町図書館副主幹	
	そ の 他		
議 題	1 豊中市立図書館評価の実施について 2 その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

平成21年度（2009年度）第2回 図書館評価検討委員会

日 時：平成21年（2009年）5月14日（木） 18時～20時

場 所：豊中市立岡町図書館 3階集会室

出席者：（敬称略）

委 員 村上（委員長） 上口 本荘 中井

事務局 古川 藤沢 林 大原 北風 松井

1 豊中市立図書館評価の実施について

（1）「資料6 豊中市の教育に関するアンケート調査 単純集計結果概要（図書館抜粋版）」

「グラフ（豊中市立図書館町別貸出冊数/町別60歳以上人口分布/庄内図書館利用者年齢層グラフ/幸町図書館利用者年齢層グラフ/高川図書館利用者年齢層グラフ）、庄内幸町図書館の概要、庄内幸町図書館のあり方検討案及び経費等比較表」

*これらの資料に基づき事務局から説明を行なった。

*これらの資料は、現在、情報公開に向けて調整中であるため、取り扱い注意のものとする。

●委員長

ただ今の説明について、何か質問はあるか。今、説明をいただいたものは、評価表のリーディング項目一覧の図書館の数、配置の適切さを考える上で、資料として必要となってくると考えてよいのか。

●事務局

図書館の数、配置の適切さを考える上で、資料としてご覧いただきたい。

●委員長

それでは、前回の資料に基づいての評価を行なっていきたい。

今回、いただいた意見を次回までにまとめるという形で進めて行きたい。

資料5「豊中市立図書館評価システム 評価表 リーディング項目（案）一覧」をご覧いただき、中項目ごとに関連する小項目を確認していきたい。

それよろしいか。

異議なし

●委員長

まずは項目について過不足がないか、確認していきたい。視点は2つある。一つ目は、

アンケート調査等の結果から加えたほうがよい項目、二つ目は指標、目標値の設定及び評価内容が適切かどうかの確認という点で、目配りしていただきたい。

それでは、中項目「図書館として適切な経営が行なわれているか。」について、ご意見をいただきたい。

●委員

小項目「図書館の数、配置の適切さ」(1.2.1~4)に関して、事務局側から12館構想の話があったが、12館構想を含めた評価を行なうのか。それとも、今あるものだけの評価でよいのか。また、既に計画があるのならば、計画そのものの見直しを行う必要はないのか。

●事務局

図書館の12館構想は、平成2年に図書館協議会において提言されたものであり、地域コミュニティ単位(中学校区)として考えられていた。ただし、社会状況及び財政状況の変化もあり、それらの変化に対応すべく、平成17年に図書館協議会から「これからの豊中市立図書館の運営のあり方について」の提言をいただいた。地域のカバー率についても既存の施設だけではなく、近隣市町村との広域連携の取組についても、その提言の中で述べられている。今回の評価は、現状の図書館に対しての評価をお願いしたい。

●委員長

地域のカバー率は、指標として設定していくのは難しいと思われる。

●委員

図書館の配置の適切さを考えた場合、利用できる施設が周辺にない地域にどのように対応するのが重要である。動く図書館巡回サービス、バス図書室等の利用についても見ていくことが必要である。

●委員長

利用状況を把握するための指標は盛り込んだほうがよい。

●委員

豊中市立図書館町別貸出冊数のグラフを見てみると、図書館が周辺にあり恵まれている地域とそうでない地域がある。未整備地域については、動く図書館巡回サービスでカバーする等の取組が必要である。

●委員長

小項目「図書館の数、配置の適切さ」については、もう少し指標を加えたり、見直したりするほうがよい。小項目「人材育成による職員の能力・資質向上」(1.1)は、非常勤職員を含めた全職員として、考えているのか。

●事務局

非常勤職員を含めた全職員である。

●委員

小項目「人材育成による職員の能力・資質向上」(1.1)の指標は、回数と人数であるが研修を受けた成果又は何を実現できたということがわかる指標があれば、よいのではないか。(待遇等の研修)それらがわかれば、研修回数を増やす、参加人数を増やす意義が出てくると思う。

●委員長

他の指標においても、同じようなものがある。

数値目標とするのは難しい点もあるので、評価内容にその効果を記載することはできるのではないか。

次に「市民にとって質の高いサービスが提供されているか」(1.2)について、ご意見をいただきたい。小項目「個人貸出」は指標等を見る限り、小項目「蔵書状況」とするほうがよいのではないか。

異議なし

●委員長

小項目「蔵書状況」の指標について、過不足はないか。

●委員

評価表のほうでは「開館日数」や「開館時間」の項目がある。資料3の図書館利用者アンケート調査結果にもあるように、これらの指標はあったほうがよい。変動するものではないが、評価を行なう上では必要である。

●委員

蔵書新鮮度とは何か。

●事務局

蔵書新鮮度とは、ある期間で新規に受入れた図書冊数をその期間の終わりの蔵書冊数で割った数値で、蔵書がどれだけ新しくなっているのかを示している。

●委員長

蔵書更新率は除籍された資料数も含めた更新された図書の割合である。それと小項目「リスクへの対応取組(資料亡失対策)」(1.5.1)は、この中項目にあったほうがよい。予算がどう使われ、また失われているかがわかるようになる。また、「開館日数」や「開館時間」

に関する指標もあったほうがよい。

●委員長

それでは、中項目「市民参加による運営が行なわれているか。」について、ご意見をいただきたい。

小項目「図書館協議会」(1.3.1)や「図書館評価検討委員会」(1.3.2)も、(1.1)と同様に達成度を測るのは難しいと思う。

●委員

傍聴者数を指標の一つとするのはどうか。このような公開の場で市民の関心がどのくらいあるかを図るために、傍聴者数は一つの指標となると思う。

●委員長

傍聴者数を集計するのは難しくないと思う。

●委員

傍聴者を増やすためには、このような取組を市民に広く知ってもらう必要はあるが、PR活動をきちんと行なっているのか。また、会議の議事録は公開されているのか。

●事務局

会議については広報誌での周知と、会議録及び資料については、市政情報コーナー及び図書館ホームページで情報公開を行なっている。

●委員長

広報活動において、マスコミ・ミニコミへの掲載とは何か。

●事務局

マスコミ・ミニコミ側から取材依頼があるものや、行政から掲載を依頼するものもある。

●委員

市民・ボランティア等の協働の中で、しょうない REK をあげられているが、他の項目でもあげられ、またあげられていないものもあるので、どこまで取り上げるべきなのか。

図書館には市民との協働・協力事業が多くあると思う。それらの事業を見える形で、出していくべきではないか。

●委員長

項目によっては、重複しているものがある。この点を事務局から説明していただきたい。

●事務局

前回でのご指摘いただいたように、この点の整理はまだできていない。委員の皆様のご意見をいただいた上で見直していきたい。

ただ、このような状況の背景としては、図書館協議会からいただいた提言「図書館評価のあり方について」に基づき、中項目の設定及び当該中項目ごとの小項目の設定の中で進めてきているものである。

●委員長

今後、この重複部分を整理していかなければならない。

それでは、中項目「図書館の情報発信・PRは十分になされているか。」について、ご意見をいただきたい。

特になし

●委員長

それでは、中項目「その他運営の健全化への対応は図れているか。」について、ご意見をいただきたい。

特になし

●委員長

次に、大項目「図書館の設置目的・使命の達成状況に関する評価」に移りたいと思う。

全体的に言えると思うが、アンケート調査からくる満足度に関する指標は加えたらどうか。既にあるデータを載せていくのであれば、図書館側の負担は少ないと思う。

それでは、中項目「市民が求める資料や情報を収集し、迅速・的確に提供できているか。」について、ご意見をいただきたい。

●委員

「迅速」とあるが、どの小項目がそれにあたるのか。

●事務局

現時点では、「迅速」が見える小項目はない。しいて言えば「個人貸出」である。「迅速」は、問合せ業務等のモニタリング調査を行うことで、評価をすることができるが、現時点でそこまでのことは行なっていない。

●委員長

購入してから棚に並ぶまでの時間はどうか。

●事務局

購入してから棚に並ぶまでの時間より、発注してから図書館に届くまでの時間が鍵とな

と思う。

●委員

職員の好感度も利用者側から見れば、大事な点である。

●委員長

それでは、中項目「市内の公共施設との連携・協力を推進し、市民の多様な情報ニーズに responding か。」について、ご意見をいただきたい。中項目「市内の公共施設との連携・協力を推進し、市民の多様な情報ニーズに responding か。」について、先ほどに関連（達成度等）して少し指標は整理していただけたらと思う。

●委員

中項目「市内の公共施設との連携・協力を推進し、市民の多様な情報ニーズに responding か。」で個別の施設名をあげられているが、なぜこの施設なのか。

●事務局

現在、連携・協力を行なっている施設をあげている。

●委員長

現在、連携・協力を行なっている施設だけでよいのか。
連携した施設数も指標の一つにすることもできる。

●委員

連携の可能性のある施設の数はどうか。

●事務局

小項目に「庁内各部署及び市政情報コーナーとの連携」をあげているように、平成19年度から市各部署局に向けての図書館のPR活動を開始した。庁内各部署へのPRに努めながら、今後も連携・協力を広げていきたいと考えている。

●委員長

それでは、中項目「ITを活用した図書館活動の向上を図るとともに市民の情報活用を支援しているか。」について、ご意見をいただきたい。

小項目「Eレファレンスの実施」はいつから開始するのか。

●事務局

今年の9月頃からの運用開始を予定している。

●委員長

それでは、中項目「子ども読書活動を推進しているか。」について、ご意見をいただきたい。

●委員

小項目「子どもや読書に関する情報提供」指標「リスト配布数」(2.5.7)のリスト配布数は何をさしているのか。

●事務局

読書マップと絵本はじめましてのリストのことである。

●委員長

それでは、中項目「学校・学校図書館への支援・連携を推進しているか。」について、ご意見をいただきたい。これは、団体サービスとして考えてよいか。

●事務局

団体サービスである。

●委員長

それでは、中項目「高齢者、障害者および外国人の読書環境づくりをすすめているか。」について、ご意見をいただきたい。

●委員

豊中市は、たくさんの外国人が住んでいると思うので、国際交流センターやその他の機関等と連携し、そのような施設に図書館所蔵の資料の貸出を行い、利用促進を図るのはどうか。

●事務局

多言語おはなし会等の事業は、国際交流センターに関連する団体と協働して取り組んでいる。また、外国人への広報は、口コミによる情報伝達手段が有効であると認識している。

また、以前には大阪外国語大学のほうに外国人の方たちと見学に行ったこともある。

ただし、情報システム面で多言語に対応していないのが、今後の課題である。

●委員長

対象とする人数を示すことができれば、効果が分かりやすいのではないかと。

●事務局

豊中市に外国人登録をされている方の人数は把握できるが、必ずしも登録をされているとは限らないのが現状である。

●委員

まだ利用されたことがない方への働きかけが大切である。利用案内の作成等の知ってもらうための働きかけを行っていく必要がある。

●事務局

高齢者の方には一定のご利用をいただいていると思うが、障害者の方へはPRもなかなかできておらず、現状でいっぱい面もある。少しずつではあるが、PR活動に努めていきたい。

●委員長

それでは、中項目「地域の情報センターとして積極的に活動しているか。」について、ご意見をいただきたい。残りの2つの中項目については、中項目「市民参画による運営が図られているか。」と合わせて整理していただきたい。

小項目「広報活動」(2.8.3/4)がここにあるのは違和感がある。中項目「図書館の情報発信・PRは十分になされているか。」にまとめても良いと思う。

●委員

ここでいう地域とはどのような範囲か。

●事務局

図書の所蔵及び地域資料も含めて、地域としている。

●委員

評価表の方には図書館職員と地域の関わりに関する項目があったが、その項目をこの中項目に加えたらどうか。

●委員長

ここでいう地域情報センターの範囲にどこまで含まれるのかを、今は雑多なものも含まれているので一度、整理を行う必要がある。

ここで、本日、ご欠席の小早川委員の意見について、事務局から報告をお願いしたい。

●事務局

小早川委員の意見としては、次の5点をいただいた。

- ・他市及び比較基準がないとわかりにくい。比較基準を考えることができないか。
- ・今後は、行政区域にとらわれず、市民の生活行動圏域を考えて取組んでいく必要がある。
- ・市民アンケート調査は有効であるが、時期（タイミング）によってその結果が変わることもある。覆面調査等も実施することが必要ではないか。
- ・コストの観点は大変であるが、図書館の公共性と照らし合わせて考えていくべきである。
- ・地域ニーズを重く受け止め、それぞれの地域にあったサービスを行っていく必要がある。

●委員長

本日、色々な意見を出していただいたが、もう一度、ご覧いただいて何かあれば5月26日までに事務局まで追加資料等のご連絡をいただきたい。

最後に、本日、傍聴をしていただいた方のご意見をいただきたい。

●傍聴者

豊中市の図書館に勤めているものであるが、日ごろの業務だけでなく、図書館全体の業務を見渡せる機会をいただいた。今後、それぞれの業務を丁寧に見ていかなければならないと感じた。

●事務局

次回の日程は、平成21年5月28日18時からである。

閉 会

●委員長

それでは以上で第2回評価検討委員会を閉会する。